



Vol.1

発行 2002年8月
動物愛護ボランティア
《ねこの会》

事務局：TEL/FAX 0263-36-2192

発刊にあたり

代表 岡田英二

私達の「ねこの会」が結成されて1年余りが過ぎましたが、漸く会報「またたび通信」が発刊するに至りました。ここに発行に関わって頂いた方々に厚くお礼を申し上げます。

さて、「ねこの会」って何だろうと思っている会員の方も多と思います。この会は猫と人が一緒に暮らしていけるための社会づくりをしようとする想いからできた動物愛護ボランティアグループです。そのためには「捨て猫の防止と繁殖制限のための啓蒙活動、地域猫化への理解と承認を求める活動、公的機関から不妊・去勢費用等の便宜を図る活動」の3点を趣旨として掲げています。特に「捨て猫をさせない・増やさない」を合い言葉に現在120名余りの方々が会員として登録してくれました。ところで、動物愛護活動は個人で動いているうちはただの動物好きの人というように世間から見られるだけで終わってしまいます。しかし、「ねこの会」の趣旨を理解し、会員として組織していただくことによって、個々の微力な活動は、1つにまとまり、今まで知らなかった人達との交流が生まれ、それが横へとつながり、とても大きな力となります。この力が地域や行政を動かす基盤となっていきます。従って何もしていないと思っている会員の方でも、「会員である」ということが実際に行われている活動を側面から支え、十分にサポーターの役目を果たしているので、会の活動はとてもやり易くなります。勿論、会員個人が自分のできる範囲で猫のための活動や会の活動に参加・協力をしていただければ、益々、猫の愛護活動は充実したものとなるでしょう。現在、長野県松本保健所、松本市、長野県動物愛護会松塩筑支部と

協議を重ね、長野県内では最も早く「地域猫」へ取り組みのできる体制を整えている会となってきました。そして近々、この事業が始まる見通しとなっています。そこで会員の方にお願ひしたいことは、始まった時にはご近所の方に「この事業はとても理想的な形で人にも猫にも優しい」ということを、そして「会の最も重要な目的がこの事です」と話して下さい。

さらにもう1つお願いがあります。これまでに企業から善意で猫の餌を大量に寄付していただきましたが、多額の運送料は当会で負担しました。また、先日まで長野銀行で行ったパネル展では新聞等でかなりの評価を受けましたが、その準備にも費用がかかりました。当会の運営は設立の当初から会費を徴収せずに寄付金や募金、一部会員の個人的な協力金によって行われています。従って財政的にはかなり厳しい状況です。会員の方々には、これまでに、活動や状況等、何の報告もしていないまま寄付の催促をここに述べてはお叱りを受けることと思いますが、寄付や募金等のご協力を是非、宜しく願ひします。不況の折、恐縮ですが、お茶やおやつ、お酒や煙草を1回我慢したわずかな額でかまいません。その楽しみを猫と人が一緒に暮らせる社会のために使って頂けたら嬉しく思います。資金等のご協力出来る方は事務局までご連絡下さい。

当会では今後も捨て猫は「地域猫」としてその地域で暮らしていけるよう、飼ひ猫には「室内飼ひ、不妊・去勢、予防接種」など適正飼養の普及・啓蒙に努力していきたいと思ひます。どうか会員の皆様にはご協力を宜しく願ひします。